

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

【2017年3月25日～2017年3月31日の推移】

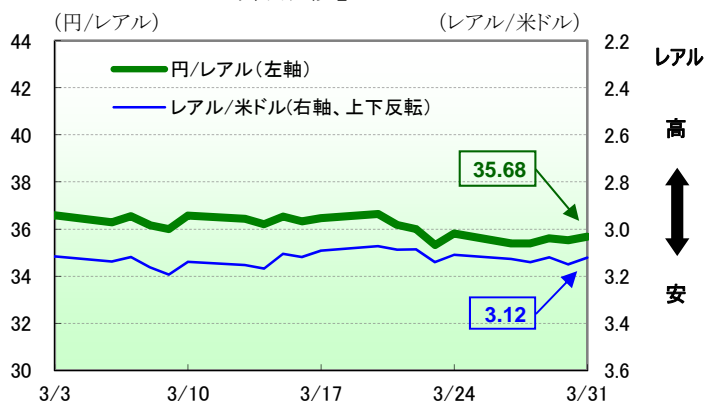
【1】先週の回顧

先週は、リアルは対米ドル・対円ともに小幅に下落しました。債券は年限により、まちまちの動きとなりました。

2017年の財政収支目標を達成するためにブラジル政府が増税を検討しているとの報道を受け、政府が引き続き財政均衡を達成することに尽力しているとの安心感が広がり、リアルが堅調に推移した他、長期金利の低下要因になりました。また、原油や鉄鉱石など商品価格が上昇したこともブラジル金融資産を後押ししました。

週の半ばにブラジル中央銀行が四半期に一度のインフレレポートを公表し、次回のCopom(金融政策委員会)において1.00%ポイントの利下げが行われる可能性を高める内容ではありましたが、中期的なインフレの見通しは据え置かれました。市場では、インフレ見通しが下方修正されるとの期待もあったため、織りこみがかく落し短期の年限の金利が上昇しました。

【ブラジル・リアル 為替推移】(2017年3月3日～2017年3月31日)



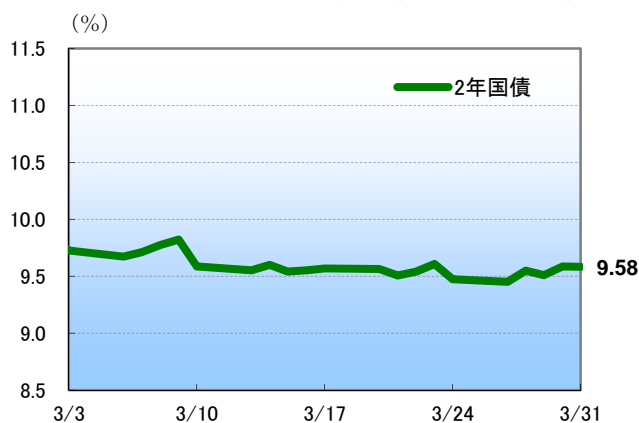
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週はいくつかの景気指標が発表される予定です。その中で、インフレ率に注目しています。物価目標は4.5%±1.5%ですが、既に物価はレンジ内に収束しており、今後一層鈍化する見通しです。インフレの予想以上の鈍化が示されれば、利下げ幅の拡大観測を高めるとみています。

公的年金支給年齢の引き上げや社会保障改革などの緊縮策には各方面から反発が生じていますが、政権が財政健全化を着々と進め、海外投資家の信認改善が続いた場合には、ブラジルへの投資活性化を通じてリアルが下支えされることが期待されます。先週、ブラジル政府は基礎的財政収支の赤字を今年の予算目標に抑えるため、予算カットと歳入拡大措置をとると発表しています。水力発電所の売却益、クレジット会社への金融取引税の適用、および社会保障費納付軽減策の廃止によって収支改善を計画しています。

【ブラジル 金利推移】(2017年3月3日～2017年3月31日)



【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考)前回
3/30	毎月	2017年1月	小売売上高(前年同月比)	-7.0%	-4.9%
3/31	毎月	2017年1月	経済活動指数(前年同月比)	-0.79%	-2.33%
4/1	毎月	2017年2月	基礎的財政収支(億ブラジル・リアル)	-235	367
4/4	毎月	2017年2月	鉱工業生産(前年同月比)	--	1.4%
4/5	毎月	2017年3月	ブラジル購買担当者総合指数(PMI)	--	46.6
4/7	毎月	2017年3月	インフレ率(前年同月比)	--	4.76%

(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
 - 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
 - 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
 - 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>